

宮城県第2次横断歩道橋長寿命化計画



令和4年3月

 宮城県土木部道路課

- 1 はじめに
 - (1) 現状
 - (2) 県管理横断歩道橋の老朽化状況

- 2 これまでの取組
 - (1) 第1次横断歩道橋長寿命化計画の実施状況
 - (2) 補修事例

- 3 本計画の基本的事項
 - (1) 目的
 - (2) 計画の期間
 - (3) 計画の対象

- 4 健全性の診断結果

- 5 補修目標

- 6 本計画の内容
 - (1) 計画の位置付け
 - (2) 計画の具体的な内容

- 7 整備効果
 - (1) 長寿命化の促進
 - (2) 維持管理費用の縮減

- 8 本計画の推進に向けた具体的な取組
 - (1) 計画の実施方法
 - (2) 横断歩道橋の的確な現状把握
 - (3) 日常管理の徹底
 - (4) 損傷の原因に対する的確な予防保全対策
 - (5) 災害時の対応

- 〈参考〉 対象横断歩道橋の概要

1.はじめに

(1) 現状

本県では、令和4年3月現在、横断歩道橋 24 橋を管理しています。

これらの横断歩道橋は、高度成長期に建設され老朽化が進むとともに、少子高齢化による労働人口減少に伴う税収の減少や社会福祉費の増加に伴う建設関係の投資余力の減少が懸念され、将来的に少ない予算の中で維持更新が必要となります。このことから、維持管理コストを低減させ、計画的に点検及び維持管理していくことを目的に、平成29年3月に第1次横断歩道橋長寿命化計画（平成28年度～令和7年度）を策定し、計画に基づき修繕に取り組んできました。

(2) 県管理横断歩道橋の老朽化状況

横断歩道橋 24 橋のうち、完成後 50 年を超える割合は、令和4年3月現在で約 21%（5 橋）、10 年後には約 46%（11 橋）、20 年後には約 75%（18 橋）となり、今後、横断歩道橋の老朽化が急速に進んでいきます。

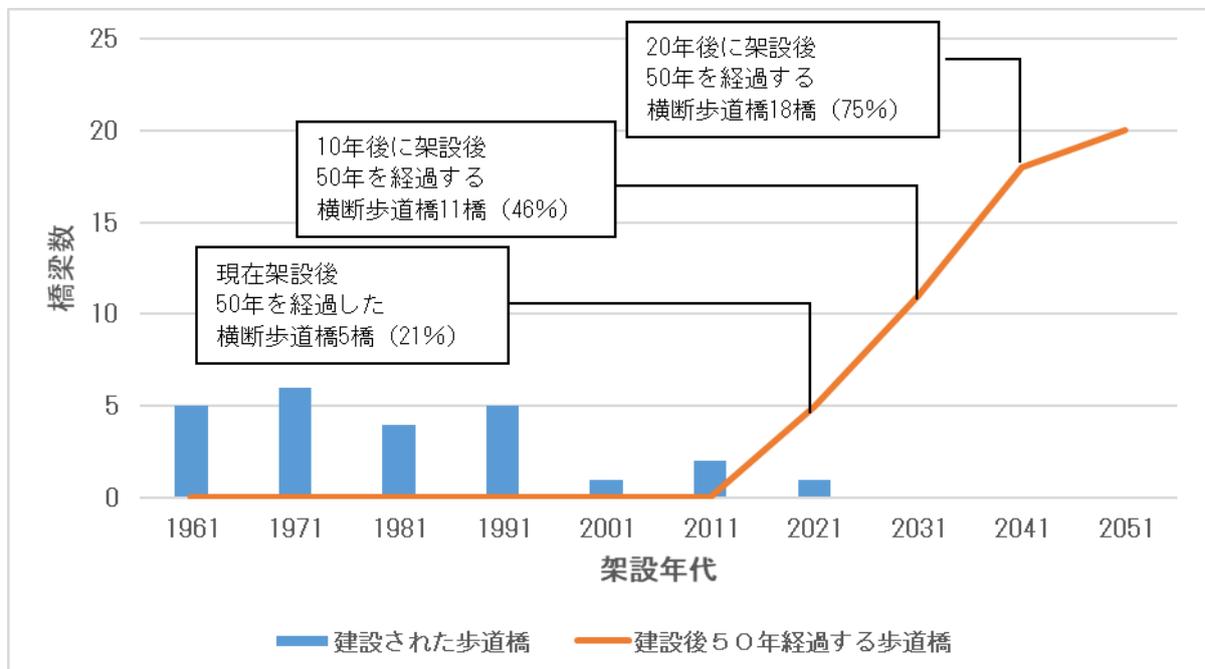


図 1 完成年度別の横断歩道橋数

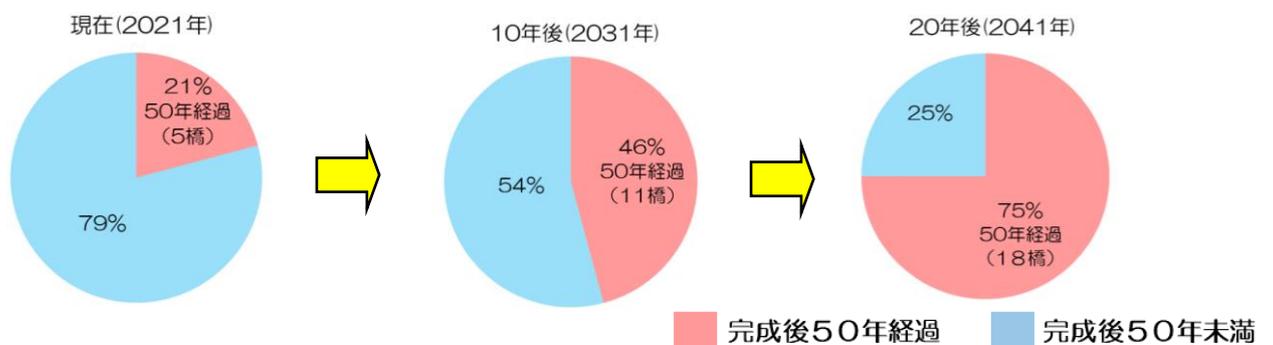


図 2 完成後 50 年以上経過する横断歩道橋の割合

2.これまでの取組

(1) 第1次横断歩道橋長寿命化計画の実施状況

第1次計画では、平成27年度に実施した1巡目の定期点検結果を基に、横断歩道橋24橋の補修目標を以下のとおり設定しました。

<p>【第1次計画の補修目標】</p> <p>【短期目標（5年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健全度Ⅲの損傷への対応：定期点検要領に基づき健全度Ⅲの補修を完了 <p>【中期目標（10年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 損傷の劣化因子の除去：部材の劣化原因となる排水施設・舗装の補修を完了 <p>【長期目標（20年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期の予防保全対策：20年で鋼部材の再塗装を完了
--

第1次計画では、横断歩道橋24橋のうち、早期に措置を講ずべき状態である健全度Ⅲの21橋について、2橋を架け替え、19橋を補修する計画としました。

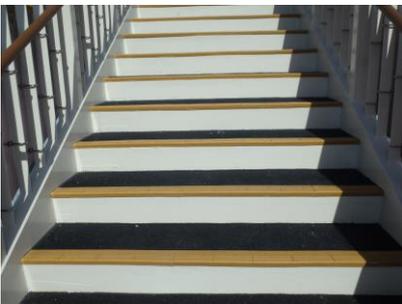
このうち、構造上、橋の機能を損なう可能性が高い歩道橋は、優先的に補修を完了させるとともに、足場設置などのコスト縮減のため、排水施設・舗装の補修や鋼部材の再塗装などの中長期目標の工事を同時施行した結果、令和3年3月時点で、1橋を撤去し、2橋を架け替え、5橋の補修を完了しています。

表1 第1次横断歩道橋長寿命化計画対象一覧表

No	横断歩道橋名	橋長(m)	路線名	竣工年	橋齢	判定結果	備考
1	福岡歩道橋	12.7	(主) 白石上山線	1968	53	Ⅲ	R2補修済
2	槻木歩道橋	72.6	(主) 丸森柴田線	1995	26	Ⅲ	
3	船岡歩道橋	13.8	(主) 白石柴田線	1968	53	Ⅲ	R1補修済
4	大河原歩道橋	13.8	(一) 大河原高倉線	1967	54	Ⅲ	
5	加瀬歩道橋	20.7	(主) 塩釜吉岡線	2002	19	Ⅲ	
6	反町歩道橋	18.7	(主) 仙台松島線	1991	30	Ⅲ	
7	利府第一歩道橋	18.0	(主) 仙台松島線	1973	48	Ⅲ	
8	利府第二歩道橋	18.0	(主) 仙台松島線	1974	47	Ⅱ	
9	町前歩道橋	39.0	(主) 塩釜亘理線	1983	38	Ⅲ	
10	関上小学校前歩道橋	62.5	(主) 塩釜亘理線	1975	46	Ⅲ	H29撤去
11	大代歩道橋	62.5	(主) 仙台塩釜線	1990	31	Ⅲ	
12	東小前歩道橋	37.4	(主) 仙台塩釜線	1991	30	Ⅱ	
13	千刈田歩道橋	23.7	(主) 塩釜七ヶ浜多賀城線	1980	41	Ⅲ	R1補修済
14	平渡歩道橋	40.6	(国) 346号	1988	33	Ⅲ	
15	涌谷蕃薇島歩道橋	20.0	(国) 346号	1991	30	Ⅱ	
16	東川原歩道橋	11.1	(国) 457号	1985	36	Ⅲ	
17	伊原津歩道橋	18.6	(国) 398号	1969	52	Ⅲ	
18	釜歩道橋	18.9	(国) 398号	1972	49	Ⅲ	R1補修済
19	大門崎歩道橋	26.4	(国) 398号	2017	4	Ⅲ	H29架替済
20	湊歩道橋	21.8	(国) 398号	2017	4	Ⅲ	H29架替済
21	渡波歩道橋	11.7	(国) 398号	1967	54	Ⅲ	
22	蛇田歩道橋	34.8	(主) 石巻鹿島台色麻線	1996	25	Ⅲ	
23	浦宿第二歩道橋	14.2	(一) 牡鹿半島公園線	1975	46	Ⅲ	R2補修済
24	中谷地歩道橋	35.1	(主) 気仙沼唐桑線	1978	43	Ⅲ	

(2) 補修事例

第1次計画で実施した補修事例を紹介します。

部材	補修前	補修後	概要
主桁			<p>【船岡歩道橋】</p> <p>路線名： (主)白石柴田線</p> <p>損傷状況： 鋼部材の腐食</p> <p>対策状況： 塗装塗替 (令和元年度実施)</p>
橋面			<p>【千刈田歩道橋】</p> <p>路線名： (主)塩釜七ヶ浜多賀城線</p> <p>損傷状況： 舗装の異常</p> <p>対策状況： 舗装打換 (令和元年度実施)</p>
階段			<p>【福岡歩道橋】</p> <p>路線名： (主)白石上山線</p> <p>損傷状況： 舗装の異常 鋼部材の腐食</p> <p>対策状況： 舗装打換 FRPシート貼付 (令和2年度実施)</p>
排水施設			<p>【浦宿第二歩道橋】</p> <p>路線名： (一)牡鹿半島公園線</p> <p>損傷状況： 排水施設の腐食</p> <p>対策状況： 排水施設取替 (令和2年度実施)</p>

3.本計画の基本的事項

(1) 目的

本県が管理する横断歩道橋の急速な老朽化に対処するため、県では、第1次計画に基づき、事後保全型※¹から予防保全型※²の維持管理へと転換を図ってきたところです。今回、第1次計画策定から5年が経過することから、これまでの補修実績や令和2年度に実施した2巡目の定期点検結果を反映し、第1次計画を本計画へ改定することにより、速やかに予防保全型の維持管理へ移行させ、計画的な維持補修と更新時期の平準化を図るものです。

※1：損傷が深刻化した際に対症療法として劣化箇所を補修する考え方

※2：点検を徹底し、損傷が深刻化する前に劣化箇所を補修する考え方

(2) 計画の期間

速やかに予防保全型による維持管理へ移行し、継続することを目標に、計画期間を以下のとおり設定しました。

計画期間：10年間（令和3年度～令和12年度）

(3) 計画の対象

以下に示す県管理横断歩道橋24橋を対象とします。

表2 第2次横断歩道橋長寿命化計画対象一覧表

No	横断歩道橋名	橋長 (m)	路線名	市町村	事務所名	竣工年	橋齢
1	福岡歩道橋	12.7	(主) 白石上山線	白石市	大河原	1968	53
2	槻木歩道橋	72.6	(主) 丸森柴田線	柴田町	大河原	1995	26
3	船岡歩道橋	13.8	(主) 白石柴田線	柴田町	大河原	1968	53
4	大河原歩道橋	13.8	(一) 大河原高倉線	大河原町	大河原	1967	54
5	加瀬歩道橋	20.7	(主) 塩釜吉岡線	利府町	仙台	2002	19
6	反町歩道橋	18.7	(主) 仙台松島線	松島町	仙台	1991	30
7	利府第一歩道橋	18.0	(主) 仙台松島線	利府町	仙台	1973	48
8	利府第二歩道橋	18.0	(主) 仙台松島線	利府町	仙台	1974	47
9	町前歩道橋	39.0	(主) 塩釜巨理線	多賀城市	仙台	1983	38
10	大代歩道橋	62.5	(主) 仙台塩釜線	多賀城市	仙台	1990	31
11	東小前歩道橋	37.4	(主) 仙台塩釜線	多賀城市	仙台	1991	30
12	千刈田歩道橋	23.7	(主) 塩釜七ヶ浜多賀城線	多賀城市	仙台	1980	41
13	平渡歩道橋	40.6	(国) 346号	大崎市	北部	1988	33
14	涌谷薔薇島歩道橋	20.0	(国) 346号	涌谷町	北部	1991	30
15	東川原歩道橋	11.1	(国) 457号	大崎市	北部	1985	36
16	伊原津歩道橋	18.6	(国) 398号	石巻市	東部	1969	52
17	釜歩道橋	18.9	(国) 398号	石巻市	東部	1972	49
18	大門崎歩道橋	26.4	(国) 398号	石巻市	東部	2017	4
19	湊歩道橋	21.8	(国) 398号	石巻市	東部	2017	4
20	渡波歩道橋	11.7	(国) 398号	石巻市	東部	1967	54
21	蛇田歩道橋	34.8	(主) 石巻鹿島台色麻線	石巻市	東部	1996	25
22	浦宿第二歩道橋	14.2	(一) 牡鹿半島公園線	女川町	東部	1975	46
23	南光町歩道橋	21.6	(一) 石巻女川線	石巻市	東部	2021	1
24	中谷地歩道橋	35.1	(主) 気仙沼唐桑線	気仙沼市	気仙沼	1978	43

4.健全性の診断結果

県では、近接目視による2巡目の定期点検結果に基づき、横断歩道橋の健全度を4段階で評価しました。

その結果、緊急的な措置が必要な横断歩道橋（健全度Ⅳ）は0橋、早期措置段階（健全度Ⅲ）は15橋、予防保全段階（健全度Ⅱ）は4橋、健全な横断歩道橋（健全度Ⅰ）は5橋となっています。

1巡目の定期点検と比較すると、補修工事を進めてきたことにより、健全度Ⅲが21橋から15橋へ、健全度Ⅱが3橋から4橋へ、健全度Ⅰは5橋となり、予防保全型に向け、着実に健全度の向上が図られていることが確認されました。

健全度	定義	1巡目	2巡目
Ⅳ	緊急措置段階 横断歩道橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	0橋	0橋
Ⅲ	早期措置段階 横断歩道橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	21橋	15橋
Ⅱ	予防保全段階 横断歩道橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	3橋	4橋
Ⅰ	健全 横断歩道橋の機能に支障が生じていない状態	0橋	5橋
※新設横断歩道橋は、健全度Ⅰと整理		24橋	24橋

表3 定期点検結果一覧表

No	横断歩道橋名	1巡目点検判定結果	2巡目点検判定結果	No	横断歩道橋名	1巡目点検判定結果	2巡目点検判定結果
1	福岡歩道橋	Ⅲ	Ⅰ	16	伊原津歩道橋	Ⅲ	Ⅲ
2	槻木歩道橋	Ⅲ	Ⅲ	17	釜歩道橋	Ⅲ	Ⅱ
3	船岡歩道橋	Ⅲ	Ⅱ	18	大門崎歩道橋	Ⅲ	Ⅰ
4	大河原歩道橋	Ⅲ	Ⅲ	19	湊歩道橋	Ⅲ	Ⅰ
5	加瀬歩道橋	Ⅲ	Ⅲ	20	渡波歩道橋	Ⅲ	Ⅲ
6	反町歩道橋	Ⅲ	Ⅲ	21	蛇田歩道橋	Ⅲ	Ⅲ
7	利府第一歩道橋	Ⅲ	Ⅲ	22	浦宿第二歩道橋	Ⅲ	Ⅰ
8	利府第二歩道橋	Ⅱ	Ⅲ	23	南光町歩道橋	-	Ⅰ
9	町前歩道橋	Ⅲ	Ⅲ	24	中谷地歩道橋	Ⅲ	Ⅲ
10	大代歩道橋	Ⅲ	Ⅲ	-	関上小学校前歩道橋	Ⅲ	-
11	東小前歩道橋	Ⅱ	Ⅲ		健全度Ⅳ	0橋	0橋
12	千刈田歩道橋	Ⅲ	Ⅱ		健全度Ⅲ	21橋	15橋
13	平渡歩道橋	Ⅲ	Ⅲ		健全度Ⅱ	3橋	4橋
14	涌谷薔薇島歩道橋	Ⅱ	Ⅱ		健全度Ⅰ	0橋	5橋
15	東川原歩道橋	Ⅲ	Ⅲ		合計	24橋	24橋

5.補修目標

令和2年度に実施した2巡目の定期点検結果を踏まえ、本計画の補修目標を以下のとおり設定します。

【本計画の補修目標】

【短期目標（5年）】

- ・健全度Ⅲの補修を完了し、予防保全型の維持管理へ移行

【中期目標（10年）】

- ・予防保全型の維持管理を行い、健全度Ⅱ以上の状態を維持

補修の優先度は、構造物の機能に支障が生じる可能性が高い健全度Ⅲの横断歩道橋の補修を優先するとともに、横断歩道橋が位置する路線の重要度（交通量、緊急輸送路、通学路等）により決定します。

なお、本計画では、足場等仮設材の効率的な利用を考慮した補修計画にするとともに、新技術を積極的に活用するなど、コスト縮減や維持管理の効率化を図ります。

	第1次横断歩道橋長寿命化計画	第2次横断歩道橋長寿命化計画
計画期間	10年間(平成28年度～令和7年度)	10年間(令和3年度～令和12年度)
対象横断歩道橋数	24橋	24橋
計画投資額	6億円 うち補修費 5.5億円 うち点検費 0.5億円	5.6億円 うち補修費 5.1億円 うち点検費 0.5億円

第1次計画を総括し更新



6.本計画の内容

(1) 計画の位置付け

令和2年度の定期点検結果を基に、横断歩道橋の損傷状況や路線の重要度を考慮して、補修の時期や実施内容について検討を行いました。なお、横断歩道橋長寿命化計画は「宮城県公共施設等総合管理方針」の「長寿命化の実施方針」及び「宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030）」の「【基本目標4】加速化するインフラの老朽化に対応した戦略的ストックマネジメントの推進」として位置付けられています。

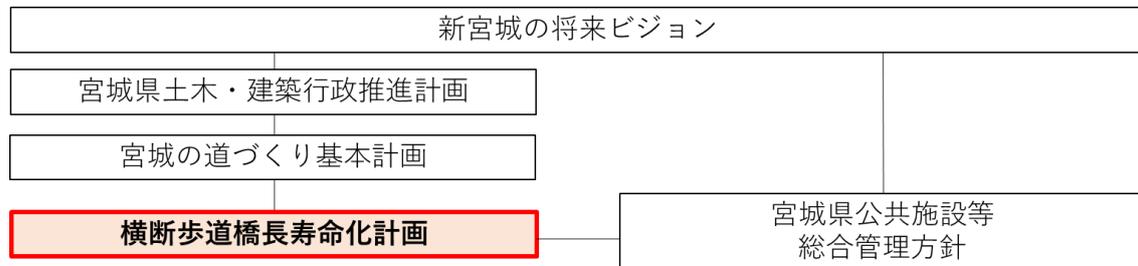


図3 計画の位置付け

(2) 計画の具体的な内容

本計画の具体的な内容は下記のとおりとなります。

なお、計画を改定するにあたり、「国立大学法人東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センターと宮城県土木部との連携・協力に関する協定書（平成28年1月）」に基づき、東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター長、久田真教授に助言をいただいております。

【対象横断歩道橋】 県管理横断歩道橋（24橋）

【計画の規模】 計画期間：10年間（令和3年度～令和12年度）

補修対象横断歩道橋数：19橋

健全度Ⅲ：5年間で15橋を補修

健全度Ⅱ：10年間で4橋を補修

5年に1回の定期点検に加え、健全度Ⅲ及び健全度Ⅱについては、職員による日常点検やパトロールを実施し、補修計画の見直しに反映。

計画投資額：5.6億円（補修費：5.1億円，点検費：0.5億円）

【対策の内容】 健全度Ⅲの損傷部補修及び損傷原因の除去（橋面防水，排水施設取替等）に加え塗装塗替

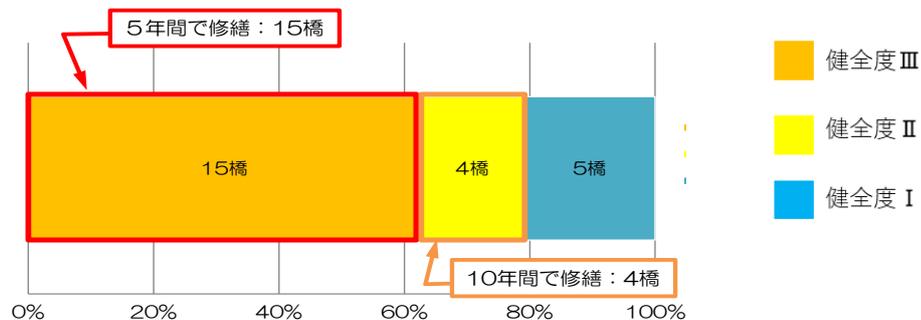


図4 健全度の割合と事業期間

※対象横断歩道橋数は、今後の定期点検や職員による日常点検等で確認された損傷の進行程度に応じて、優先的に修繕工事をする場合もあり、固定化されるものではない。

表 4 補修状況一覧表

No	横断歩道橋名	橋長 (m)	路線名	1巡目点検 判定結果	補修履歴	2巡目点検 判定結果	備考
1	福岡歩道橋	12.7	(主) 白石上山線	Ⅲ	R2補修済	I	
2	槻木歩道橋	72.6	(主) 丸森柴田線	Ⅲ		Ⅲ	
3	船岡歩道橋	13.8	(主) 白石柴田線	Ⅲ	R1補修済	Ⅱ	
4	大河原歩道橋	13.8	(一) 大河原高倉線	Ⅲ		Ⅲ	
5	加瀬歩道橋	20.7	(主) 塩釜吉岡線	Ⅲ		Ⅲ	
6	反町歩道橋	18.7	(主) 仙台松島線	Ⅲ		Ⅲ	
7	利府第一歩道橋	18.0	(主) 仙台松島線	Ⅲ		Ⅲ	
8	利府第二歩道橋	18.0	(主) 仙台松島線	Ⅱ		Ⅲ	
9	町前歩道橋	39.0	(主) 塩釜巨理線	Ⅲ		Ⅲ	
10	大代歩道橋	62.5	(主) 仙台塩釜線	Ⅲ		Ⅲ	
11	東小前歩道橋	37.4	(主) 仙台塩釜線	Ⅱ		Ⅲ	
12	千刈田歩道橋	23.7	(主) 塩釜七ヶ浜多賀城線	Ⅲ	R1補修済	Ⅱ	
13	平渡歩道橋	40.6	(国) 346号	Ⅲ		Ⅲ	
14	涌谷薔薇島歩道橋	20.0	(国) 346号	Ⅱ		Ⅱ	
15	東川原歩道橋	11.1	(国) 457号	Ⅲ		Ⅲ	
16	伊原津歩道橋	18.6	(国) 398号	Ⅲ		Ⅲ	
17	釜歩道橋	18.9	(国) 398号	Ⅲ	R1補修済	Ⅱ	
18	大門崎歩道橋	26.4	(国) 398号	Ⅲ	H29架替済	I	
19	湊歩道橋	21.8	(国) 398号	Ⅲ	H29架替済	I	
20	渡波歩道橋	11.7	(国) 398号	Ⅲ		Ⅲ	
21	蛇田歩道橋	34.8	(主) 石巻鹿島台色麻線	Ⅲ		Ⅲ	
22	浦宿第二歩道橋	14.2	(一) 牡鹿半島公園線	Ⅲ	R2補修済	I	
23	南光町歩道橋	21.6	(一) 石巻女川線	-		I	R2新設
24	中谷地歩道橋	35.1	(主) 気仙沼唐桑線	Ⅲ		Ⅲ	
-	関上小学校前歩道橋	62.5	(主) 塩釜巨理線	Ⅲ	H29撤去	-	

7.整備効果

(1) 長寿命化の促進

事後保全型の維持管理から早期補修による予防保全型の維持管理に移行することで、横断歩道橋の寿命は、約 27 年の長寿命化が見込まれます。

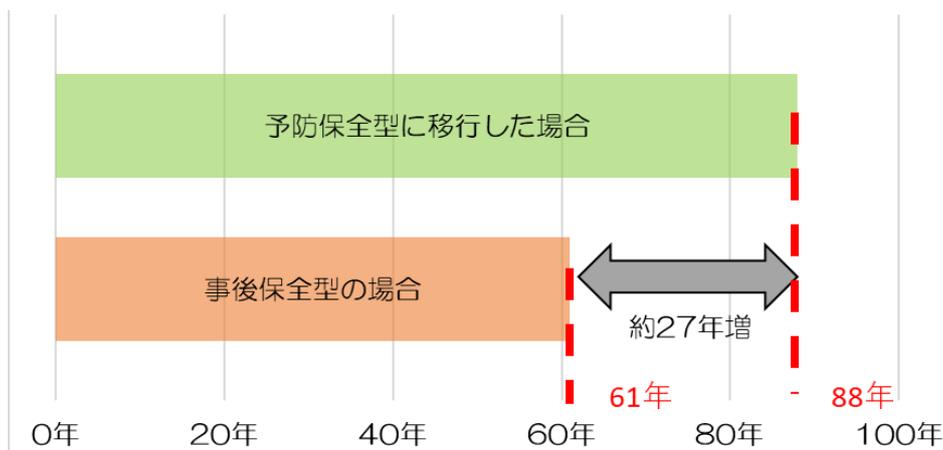


図 5 事後保全型と予防保全型の横断歩道橋寿命の比較

※ 横断歩道橋の寿命は、「自治体管理・道路橋の長寿命化修繕計画 計画策定マニュアル」に基づき、橋種・建設年代に応じた更新までの期間をもとに算出している。

(2) 維持管理費用の縮減

事後保全型の維持管理と予防保全型の維持管理に移行した場合を比較すると、予防保全型に移行した場合、横断歩道橋の寿命が延び、架替頻度が減ることから、今後 100 年間の修繕費用は 102.6 億円となり、事後保全型の維持管理をした場合の 177.4 億円より約 74.8 億円 (△42%) 費用縮減が見込まれます。

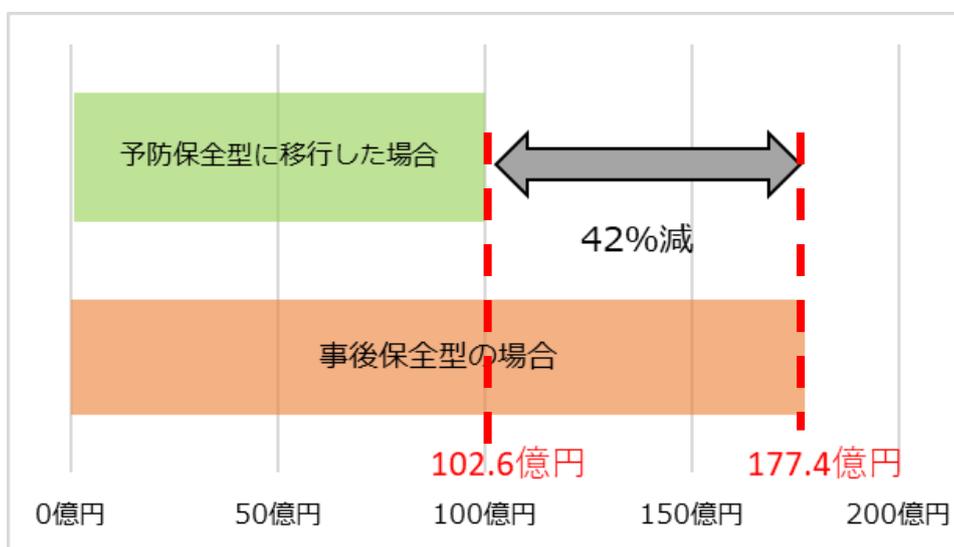


図 6 事後保全型と予防保全型の維持管理修繕費用の比較

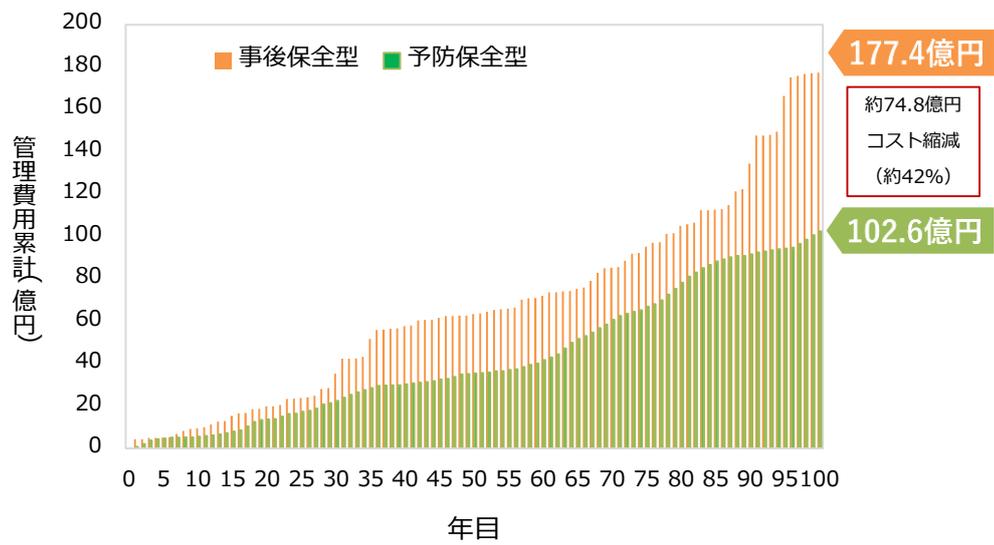


図 7 事後保全型と予防保全型の維持管理コストの累計金額比較

8.本計画の促進に向けた具体的な取組

(1) 計画の実施方法

本計画は、「橋梁点検」→「計画策定」→「補修」→「カルテ管理」のメンテナンスサイクルに基づき行うものとし、なお、点検結果により対策が必要となった場合には、計画の一部見直しを行っていきます。

1回/5年・横断歩道橋定期点検要領（国土交通省 道路局）による

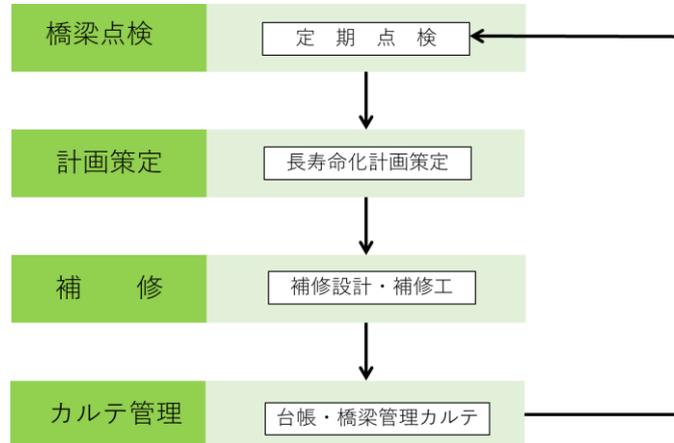


図 8 長寿命化計画のメンテナンスサイクル

(2) 横断歩道橋の的確な現状把握

安全で安心な宮城の横断歩道橋を目指し、効率的な維持管理を行うため、定期点検を実施します。なお、定期点検は、近接目視にて5年に1回の頻度で行い、横断歩道橋の詳細な現状の把握を行います。

効率的な維持管理のために点検結果、補修履歴等のデータベース化を進め、蓄積したデータを、劣化予測等に活用し本計画に反映させていきます。



定期点検の状況

(3) 日常管理の徹底

横断歩道橋の長寿命化につなげるため、「日常の維持管理」を徹底します。

- ・ 階段部の体積土砂撤去
- ・ 路面（橋面）の清掃
- ・ 定期点検や職員による日常点検において、路面滞水の原因となる排水柵の土砂撤去などを積極的に実施してまいります。



排水柵土砂堆積の状況

(4) 損傷の原因に対する的確な予防保全対策

鋼部材の主な損傷である腐食に対して長期的な予防保全のため、C系塗装^{※1}による補修を行います。なお、再塗装を行う際に、塗膜ダスト^{※2}の発生を防ぐため、剥離剤による塗膜除去を行うなど新技术を積極的に活用し、維持管理修繕費用の縮減を図ります。さらに、下部工の保全のため、傷んだ排水柵や排水管の取替を推進します。

※1：従来の塗装と比較し、耐久性に優れる塗装

※2：既設塗膜を除去する際に発生する粉塵

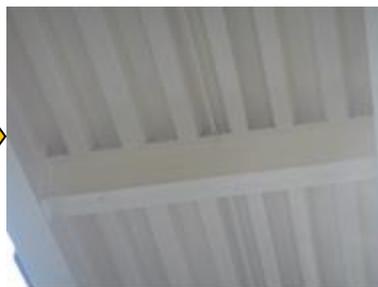
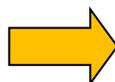
表5 取り組み方針

工種	第1次計画	本計画	本計画へ移行することによる効果
塗装	A, B系塗装	C系塗装	・耐久性に優れる。
塗装除去	ブラスト工法	剥離剤等の新技术の使用	・塗膜ダストの発生を防ぎ安全性に優れる ・塗膜ダストの回収が無いいため施工性に優れる

C系塗装による塗装補修



補修前



補修後

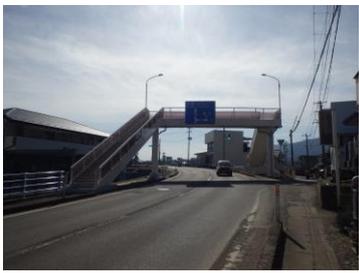
(5) 災害時の対応

点検で異常が確認された場合、緊急を有するものは早急に補修し、今後の記録として継承していきます。

〈参考〉対象横断歩道橋の概要



【横断歩道橋一覧 1/2】

1	福岡歩道橋（白石市） （主）白石上山線 橋長 12.7m, 1968 年竣工	2	槻木歩道橋（柴田町） （主）丸森柴田線 橋長 72.6m, 1995 年竣工	3	船岡歩道橋（柴田町） （主）白石柴田線 橋長 13.8m, 1968 年竣工
					
4	大河原歩道橋（大河原町） （一）大河原高倉線 橋長 13.8m, 1967 年竣工	5	加瀬歩道橋（利府町） （主）塩釜吉岡線 橋長 20.7m, 2002 年竣工	6	反町歩道橋（松島町） （主）仙台松島線 橋長 18.7m, 1991 年竣工
					
7	利府第一歩道橋（利府町） （主）仙台松島線 橋長 18.0m, 1973 年竣工	8	利府第二歩道橋（利府町） （主）仙台松島線 橋長 18.0m, 1974 年竣工	9	町前歩道橋（多賀城市） （主）塩釜亘理線 橋長 39.0m, 1983 年竣工
					
10	大代歩道橋（多賀城市） （主）仙台塩釜線 橋長 62.5m, 1990 年竣工	11	東小前歩道橋（多賀城市） （主）仙台塩釜線 橋長 37.4m, 1991 年竣工	12	千刈田歩道橋（多賀城市） （主）塩釜七ヶ浜多賀城線 橋長 23.7m, 1980 年竣工
					

【横断歩道橋一覧 2/2】

13	平渡歩道橋（大崎市） （国）346号 橋長 40.6m, 1988年竣工	14	涌谷薔薇島歩道橋（涌谷町） （国）346号 橋長 20.0m, 1991年竣工	15	東川原歩道橋（大崎市） （国）457号 橋長 11.1m, 1985年竣工
					
16	伊原津歩道橋（石巻市） （国）398号 橋長 18.6m, 1969年竣工	17	釜歩道橋（石巻市） （国）398号 橋長 18.9m, 1972年竣工	18	大門崎歩道橋（石巻市） （国）398号 橋長 26.4m, 2017年竣工
					
19	湊歩道橋（石巻市） （国）398号 橋長 21.8m, 2017年竣工	20	渡波歩道橋（石巻市） （国）398号 橋長 11.7m, 1967年竣工	21	蛇田歩道橋（石巻市） （主）石巻鹿島台色麻線 橋長 34.8m, 1996年竣工
					
22	浦宿第二歩道橋（女川町） （一）牡鹿半島公園線 橋長 14.2m, 1975年竣工	23	南光町歩道橋（石巻市） （一）石巻女川線 橋長 21.6m, 2021年竣工	24	中谷地歩道橋（気仙沼市） （主）気仙沼唐桑線 橋長 35.1m, 1978年竣工
					